

# 無情な津波

大津波警報発表後、すぐに広報担当は海に向かいました。地震発生後のまちと、久慈湊地区の金刀比羅神社から見た津波の状況を、ありのままにお伝えします。

## 14:46~ 世界最大級の地震 大津波警報発表

3月11日（金）14時46分ごろ、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生。地震のエネルギーを表すマグニチュードは世界最大級の9.0を記録しました。

地震発生時、わたしは市役所3階にいました。はじめ静かに感じられた揺れは、どんどん大きくなり、立っていることも困難に。あわてて階段の手すりにしがみつきました。が、やむ気配のない地震に「階段が落ちるかも」と恐怖を感じ、手を伸ばして今度は壁に揺れが弱まったあと、おびえ

ながら2階の執務室に戻ると、顔をこわばらせた他の職員が立ちすくんでいました。

余震を恐れて市役所の外に飛び出したときでした。防災行政無線から、けたたましいサイレン音とともに「大津波警報」の一声。急いで2階に戻って上着とカメラを手にし、自家用車で諏訪下地区の水門に向かいました。

## 14:53~ 信号停止で大混乱 必死に避難指示

道路に出ると停電によって信号は停止し、アンバーホールの交差点は大混乱。たくさんさんの車が勢いよく交差し、衝突しそうな車を何度も



信号が停止し、交差点は大混乱

見かけました。わたしの車はまったく進むことができず、市役所から20分しか離れていない水門に着くまでかかった時間は約10分。やっこの思いで着いたときは、すでに水門が閉鎖され、水門の外側には多くの大型車両が立ち往生。消防職員や消防団員は必死に避難を指示していました。



漁協前には大型車両が立ち往生

水門の上から港を見ると、急いで沖に向かう漁船の姿が見えました。車を進め、諏訪緑地まで行くと、消防団員など数人が潮位を監視していました。皆、不安な表情をしていましたが、ここまでは大地震発生と同時に停電などした以外過去に津波の警報・注意報が発表されたときにも見た光景でした。ここまでは。

## 15:10~ 混雑し進まない車 走って避難所へ

直感的に嫌な感じがしたわたしは、そのまま久慈湊地区津波避難所の金刀比羅神社に向かいました。

市漁協前を通り湊橋をわたって久慈湊地区に。合流先の国道395号は市役所を出たところよりも混雑していました。特に市街地に向かう車線は大



大渋滞で避難もままならず

渋滞で、車が進むスピードは、徒歩と変わらないように感じられました。久慈湊・夏井方

## 15:17~ 増す不安と恐怖 避難所200人超

面に向かう車線も思うように進まず、わたしは恵愛病院に車を止め、そこから金刀比羅神社に向かつて走りました。

道路沿いに目をやると地震で戸が倒れ、ガラスが割れた民家が。山手に進むとリュックを背負って避難しようとする子どもと高齢者の姿も見え



荷物持参で避難所に急ぐ住民

ました。不安と恐怖が増す中、息を切らして着いた金刀比羅神社には、子どもから高齢者まで200人以上がすでに避難。携帯電話で誰かに連絡をとろうとする人、小さな子どもを抱えあやす人、みけんにしわを寄せ警戒する人…。初めて見る光景でした。

久慈湊保育園の園児と関係者のほか、数人しか避難していなかった3月9日の津波注意報発表時とは大違い。この日の金刀比羅神社は、異様な雰囲気にも包まれていました。

わたしは津波記念碑近くの鳥居をくぐり、階段を登って高見台へ。海を見わたせる場所に陣取ってまもなく、水平線に、今まで見たこともない恐ろしい変化が起きたのです。



社務所への階段まで避難者が。皆、不安な表情を浮かべていました